

文部科学大臣 中川 正春 様
沖縄県教育委員長 中野 吉三郎 様

八重山地区中学校社会科公民教科書の採択について（要請）

全国でも話題になっている平成24年度から使われる社会科公民教科書について、私たち保護者は「育鵬社版」を採択しないよう、強く要請してきました。

その理由は、教科用図書調査員の報告書でマイナス面が多く指摘されていることや、「行き過ぎた平等意識はかえって社会を混乱させる」（「平等権」の項目）といったような、偏った見解の記述が多いなど、子どもたちの教材として、ふさわしくないと考えるからです。

各教育委員会の採択の結果、石垣市、与那国町は「育鵬社版」、竹富町は調査員も推薦する「東京書籍版」を採択したことにより、教科書無償措置法で定める「地区内で同一の教科書を採択する」という状態に至りませんでした。

その打開策として開かれた9月8日の三市町教育委員全員による協議(全員協議)の結果、「育鵬社版」を不採択にし、新たに「東京書籍版」が採択されました。

この結果に私たち保護者は安心し、また、沖縄県教育委員会も「全員協議は有効」として、文部科学大臣宛に公文書で報告しています。

しかし、石垣市・与那国町両教育長の「無効」とする文書が文科大臣の「協議は整っていない」、「竹富町は無償給付の対象外」旨の発言となり、八重山地区に混乱を招いています。

そこで、私たちは、子どもたちの教科書としてふさわしく、教職員も高く評価する「東京書籍版」教科書を「地区内の同一の教科書」として確認していただくよう要望するものです。

子どものための教科書を考える保護者の会

共同代表 平良守弘 宇根信夫 稲川宏二
東蔵盛充 平良敏一 知念秀明

上記要請に賛同します。

No.	氏名	住所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

【取り扱い団体 子どもと教科書を考える八重山地区住民の会】